Press Release

報　道　関　係　者　各　位

2018 年 8 月 22 日

株式会社イード

（東証マザーズ ：コード 6038 ）

イード、ジゴワッツとカーシェア向け「バーチャルキー」の商品開発で業務提携
～カーライフの「所有から利用」（MaaS）の促進へ～

株式会社イード（本社：東京都新宿区、代表取締役：宮川 洋 以下、イード）と、デバイス開発と認証技術に強みを持つ株式会社ジゴワッツ（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：柴田知輝 以下ジゴワッツ）は後付型のオンラインキーシェアリングシステム（以下バーチャルキー）の商品化開発と独占的な販売における提携に合意致しました。

現在、日本のカーシェアリングの車両台数は29,208台（前年比19%増）、会員数は1,320,794人（同22%増）と急成長しています。（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団による2018年3月の調査より）

また、マイカーを個人間でシェアリングする個人間カーシェアリングも、会員数が12万人、車両台数が4,500台を越えるなど、カーライフの「所有から利用へ」のトレンドが進んでいることがうかがえます。

一方で、自動車を所有するオーナーが、個人間カーシェアリングを利用することで、ローンや維持費の負担を軽減する効果があることから、アメリカではトヨタやGM、ダイムラーなどの自動車メーカー大手が、積極的に個人間カーシェアリングサービス企業と連携しています。

そういった動きも含めて、今後世界では2021年には約3,500万人がカーシェアリングを利用し、市場は約6,000億円にまで成長すると言われています。（ボストンコンサルティンググループ「What's Ahead for Car Sharing?:The New Mobility and Its Impact on Vehicle Sales」 レポートより）

複数人で自動車を利用するときには、必ず鍵の受け渡しが行われます。とくに個人間カーシェアリングでは、オーナーと利用者との鍵の手渡しのタイミングを合わせることが難しく、オーナーにとっては機会損失につながっています。

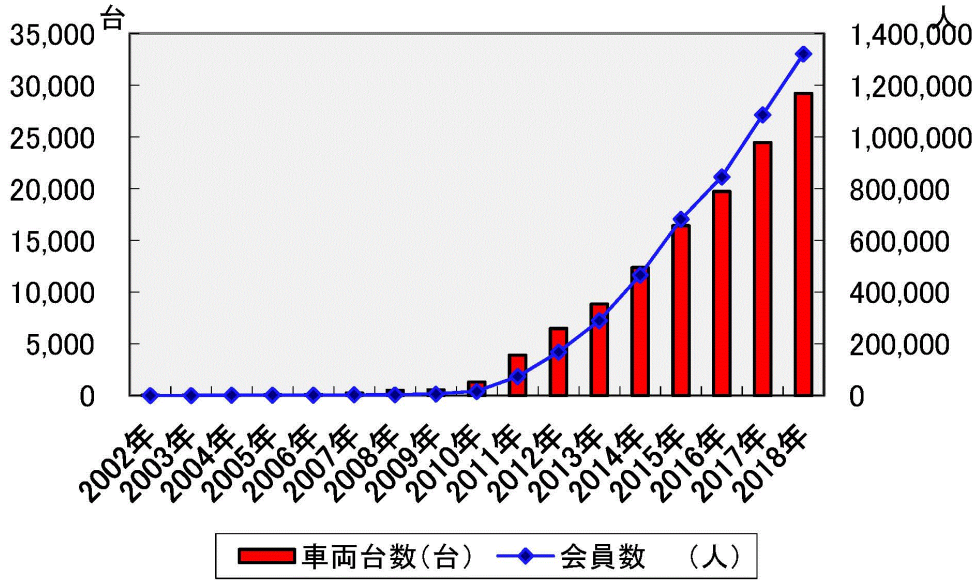
©2018 IID, Inc.

今回開発するバーチャルキーは管理者や所有者の元にマスターキーを置きながら、利用者はスマートフォンで受信したバーチャルキーでドアロック解除およびエンジン始動までを可能にする画期的なシステムです。（特許出願中）

鍵のロックやアンロックの時間や位置情報のログ管理が可能となり、オンライン経由でエンジンの始動を制限することもできます。

このような特性を活かして、企業が管理する営業車など社用車の鍵管理、ドライバーの労務管理、また自動車ローンやリースとの連携商材にもバーチャルキーは有効と考えます。

今後、イードおよびジゴワッツの両社は年内の商品化を急ぎ、プロトタイプのデモを通じてカーシェアリング各社、またカーリース企業への導入を目指します。来年には販売体制を整えて個人向けの商品提供も計画しております。



日本のカーシェアリング車両台数と会員数の推移（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団による 2018 年 3 月の調査資料より）

■ **取材などのお問合せ　：　広報担当**

URL：https://www.iid.co.jp/contact/pr_contact.html

株式会社イード　〒163-0228 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 28 階　http://www.iid.co.jp/

©2018 IID, Inc.